

平成19年度環境技術実証モデル事業検討会 有機性排水処理技術ワーキンググループ会合(第1回)

議事要旨

1. 日時：平成19年6月28日(木) 14:00～15:20

2. 場所：霞山会館 たけの間

3. 議題

- (1) WGの設置について
- (2) 実証機関の募集について
- (3) 実証機関への申請団体からのヒアリング
- (4) 実証機関の選定について
- (5) 今後の進め方(拡大ワーキンググループの開催等)について
- (6) 今後のスケジュールについて
- (7) その他

4. 出席検討員：藤田正憲(座長)、岡田光正、中井尚、名取眞

実証機関への申請団体：大阪府 南 哲朗

社団法人埼玉県環境検査研究協会 野口 裕司、浅川 進

5. 配布資料

資料1 平成18年度環境技術実証モデル事業検討会有機性排水処理技術
ワーキンググループ会合(第2回)議事概要(案)

資料2 平成19年度環境技術実証モデル事業検討会有機性排水処理技術
ワーキンググループ設置要綱(案)

資料3 平成19年度環境技術実証モデル事業 小規模事業場向け有機性排水処理技術
分野実証機関の応募の受付開始について

資料4 平成19年度環境技術実証モデル事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
実証機関への申請書類(非公開)

4-1 大阪府 4-2 (社)埼玉県環境検査研究協会

資料5 平成19年度環境技術実証モデル事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野
実証機関の選定に係る審査結果記入用紙(非公開)

資料 6 平成 19 年度環境技術実証モデル事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の進め方について（案）

資料 7 今後のスケジュール（案）

参考資料

- 1 小規模事業場向け有機性排水処理技術（厨房・食堂、食品工場関係）実証試験要領（第 3 版）
- 2 平成 18 年度環境技術実証モデル事業小規模事業場向け有機性排水処理技術分野における実証対象技術の募集について（大阪府公表資料）
- 3 手数料の概算方法、手数料予定額の明示方法の例示

6. 議事

会議は非公開で行われた。

（ 1 ）WG の設置について

- ・事務局から資料 2 に基づき、ワーキンググループ設置要綱（案）を説明。
- ・資料 2 については了承され、今年度も引き続き手数料徴収体制での実証試験を行っていくことになった。

（ 2 ）実証機関の募集について

- ・環境省から、資料 3 に基づき、5 月 29 日から 6 月 18 日の間で平成 19 年度有機性排水処理技術分野の実証機関の募集を行ったことを報告。
- ・実証機関の募集の結果、地方公共団体から 1 か所（大阪府）及び民法第 34 条に基づき設立された法人（公益法人）から 1 か所（社団法人埼玉県環境検査研究協会）の応募があったことを報告。

（ 3 ）実証機関への申請団体からのヒアリング

- ・実証機関への申請団体（大阪府、社団法人埼玉県環境検査研究協会）から、資料 4 - 1、4 - 2 に基づき、ヒアリングを実施。

（ 4 ）実証機関の選定について

- ・事務局から資料 5 に基づき、「審査結果記入用紙」を説明。
- ・検討員により資料 5 に審査の結果が記入され、回収を行った結果、全員一致で大阪府及び社団法人埼玉県環境検査研究協会を実証機関として選定することが承認された。

（ 5 ）今後の進め方（拡大ワーキンググループの開催等）について

- ・環境省から、資料 6 に基づき、「今後の進め方（拡大ワーキンググループの開催等）」を説明。
- ・対象技術の募集にあたっては、原則的には全国を対象として技術を募集することを共通

の認識とした。

- ・10月以降には有機性排水処理技術分野のより効率的な制度の構築のための検討を行う拡大ワーキンググループを開催することが確認された。

(6) 今後のスケジュールについて

- ・事務局から資料7に基づき、「今後のスケジュール」を説明。
- ・事務局から参考資料2、3に基づき、「実証対象技術の募集について」及び「手数料の概算方法、手数料予定額の明示方法の例示」を説明。
- ・対象技術の募集に関しては、7月中旬を目途に対象技術の募集を開始することが確認され、手数料額の想定額に関して明示する必要があることを確認された。

(7) その他

- ・今回の会合については非公開であるが、議事についてはホームページに公開することが了承された。

(文責：環境省水・大気環境局総務課環境管理技術室 速報のため事後修正の可能性あり)